

学習計画表		時
9	導入	1
8	展開	2
7	展開	3
6	展開	4
5	展開	5
4	展開	6
3	展開	7
2	展開	8
1	まとめ	9

単元のめあて

筆者のものの見方をとらえながら『鳥獣戯画』を読み、読み取ったことを生かして名画の解説文を書こう。

教材文の『鳥獣戯画』の絵を拡大して提示します。

導入として提示する絵を提示します。

名画のよさを伝える解説文を書こう

【題名】 その題名にした理由

「○○○」↓ ・○○○のように見えたから。  
 「□□□」↓ ・□□□が伝わるから。

絵を見た気付き

- かえるがおどっているように見える。
- すもうをしている様子。
- 墨でかかれていて、色が無い。
- 周りに建て物がないので広い場所だと分かる。

など

【筆者の書き方】

- 書き出しの工夫
- 絵のほめ方の工夫
- 文末表現の工夫

※児童の発言に合わせて板書します。

【1/9時間目 指導略案】 使用するワークシート『鳥獣戯画』を読む①  
 本時のねらい  
 絵に関心をもたせ、学習の見通しをもたせる。

1 教師が提示した絵を見て、題名を考える。

○ 一枚の絵を提示し、児童に気付きを出させ、絵から想像したことを基に題名を付けることを確認する。

○ 絵の題名を考えさせ、グループごとに題名とその理由を交流させる。

※ 題名は付箋に書かせ、絵に貼ると交流しやすくなります。交流させることで、見方や感じ方の違いが分かり、そのおもしろさに気付かせることができます。

※ 児童に提示する絵は、図工の鑑賞用のものを利用したり、地域の図書館から借りたりして準備をします。

2 単元の学習課題を設定する。

○ 自分の選んだ名画の解説文を書き、校内の児童に紹介することを提案し、意欲を喚起する。

○ 単元のめあてを提示する。

3 教材文を読み、学習計画を立てる。

○ 『鳥獣戯画』の絵を見て、気付きを出し合った後、教材文を読ませる。

○ 教材文を読んで、筆者の書き方で上手だと思ふ表現の工夫を出し合う。

・ 書きだしが面白い・絵のほめ方が上手・分かりやすい・読者に話し掛けてくるような文末 など

○ 「学習の手引き」を参考にし、学級全体で話し合いながら学習計画を立てる。

※ どんな見方をして、どんなことを書けばよいのか分からないことを確認し、鳥獣戯画の解説をしている教材文を読み取っていく必要感をもたせませす。

※ 計画を立てていくときには、児童の出した気付きに合わせた形でまとめていくと、学習の目的や見通しをもたせやすくなります。

評価 絵に関心をもち、これからの学習の見通しをもっている。 (関)

4 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。

○ 筆者の絵の見方を学ぶために、教材文を読み取っていくことを知らせる。